

# 仏の植物学者、ブラン氏が来日 県の植生調査開始

## 新山口駅に垂直庭園デザインへ

JR新山口駅（山口市小郡下郷）ターミナルパーク整備で、在来線口と新幹線口をつなぐ「南北自由通路」の壁面緑化を監修するフランス人の植物学者兼アーティシートのパトリック・ブラン氏が来日し、9日から山口県の植生調査を始めた。



植生調査のため、山口市を訪れたパトリック・ブラン氏  
9日、山口市徳地

ブラン氏は建物の外壁などに特殊なフェルトを張って植物を植えこむ「垂直庭園」を展開。日本では金沢21世紀美術館所蔵の「緑の橋」や東京・表参道の商業施設などの壁面をデザインしている。

JR新山口駅ターミナルパーク整備では、基本概念「自然と都市が調和する個性のかつ機能的な快適空間」に基づき、南北自由通路（延長約160m、幅員10m、高さ約4m）のうち延長約60m、面積約380平方mの空間に、山口県内の植物を中心とした壁面緑化を手掛ける。

ブラン氏はこの日、市ターミナルパーク整備部や市

# 地元を楽しく知ろう 山陽道すざろく製作

誌会 郷好 礼好 牟同

学校芸術部の生徒たちの協力を得て、3月に完成させた。同会の原案を基に、具体的なデザインや挿絵を生徒が考えたという。「子どもが発想で面白く仕上がった」と大田さん。

150部作製し、約100部を同会の会員、防府図書館、地元の小中学校など

山口市阿知須の阿知須郵便局（重田伊昭局長）は、風景印のデザインをリニューアルした。

## 阿知須郵便局の風景印 デザインリニューアル



リニューアルした阿知須郵便局の風景印と重田局長

山口市仁保中便局（中川欣亮使用済み切手で

山口銀行山口支店の移転10周年を記念したコンサート

森林組合関係者ら約20人とともに、同市徳地の飯ヶ岳（標高約937m）周辺で山野草の植生調査をした。10日は美祿市の西秋吉台周辺で調査を行う。ブラン氏は「新山口駅に、山口の自然の一角を切り取ったような垂直庭園をデザインした」と話した。同整備はJR新山口駅の交通結節点としての機能強化を図るもので、南北自由通路や橋上駅舎、表口駅前広場を整備する。総事業費約110億円。2016年度末までに整備し、17年4月の利用開始を目指す。



この切手

山口市仁保中便局（中川欣亮使用済み切手で